

文化財で学ぶ 小藩分立のおおいた

「小藩分立」は、江戸時代の大分県の歴史を、もっともわかりやすく表した言葉です。江戸時代の県内には、中津・杵築・日出・府内・臼杵・佐伯・岡・森の8つの藩がありました。8藩にゆかりのある城（陣屋）跡からは、大分県の特徴である「小藩分立」の歴史を学ぶことができます。

なお、江戸時代の大分県は、その他にも幕府領（天領日田など）や宇佐神宮の所領、さらには、肥後藩・延岡藩・島原藩の領地（飛び地）などが入り交じっていました。

中津藩

奥平氏が蘭学を奨励したことで、前野良沢をはじめ多くの蘭学者が生まれました。



中津城（市史跡）

森藩

藩主は久留島氏。飛び地領の別府明善温泉で生産される明礬は、藩の大きな財源でした。



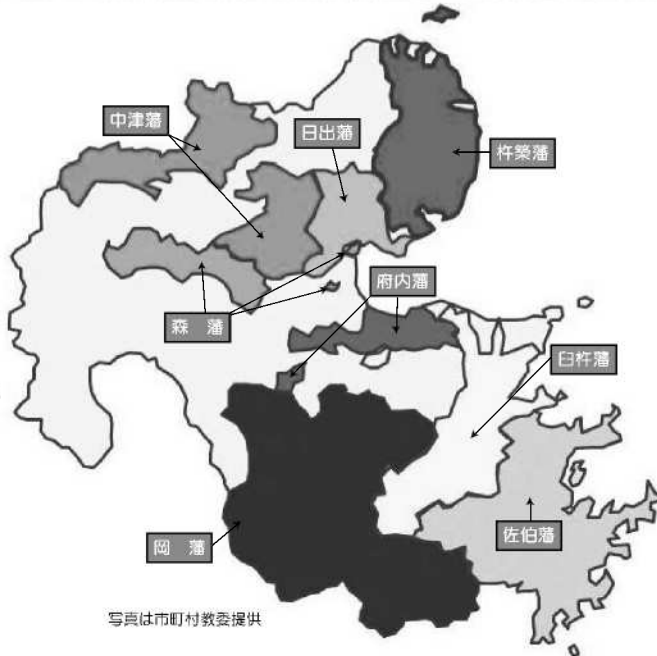
森藩陣屋跡（庭園は県名勝）

岡藩

藩主は中川氏。早くから鉱山開発を進め、幕府の命令により、藩内で「興永通宝」を造りました。



岡城跡（国史跡）



写真は市町村教委提供

杵築藩

藩主は細川氏、小笠原氏、松平氏と変わりました。今なお、武家屋敷跡や石畳道などが残っています。



杵築城（城山公園石造物群は市有形文化財）

日出藩

藩校致道館を開き、「豊後三賢」の一人、帆足万里を輩出しました。



日出城跡（市史跡）

佐伯藩

藩主は毛利氏。リアス式海岸から得られる海産物が豊富でした。



佐伯城三ノ丸櫓門（県有形文化財）

臼杵藩

藩主は指葉氏。大友宗麟が築いた臼杵城を中心に、「町八町」と呼ばれる城下町が造られました。



臼杵城跡（県史跡）

府内藩

藩主は早川氏、福原氏、竹中氏、日根野氏、松平氏とめまぐるしく交代しました。



府内城跡（県史跡）

「PTA人権学習ガイドブック」を作成しました!!

～PTAで楽しく人権学習してみませんか～

このたび県教育委員会が発行した「PTA人権学習ガイドブック」は、個人でも、グループでも楽しく人権について学習できる参加・体験型の人権学習資料集となっています。是非一度活用してみてください。

なお、ガイドブックを活用したPTAの人権学習会に講師も派遣します。（費用は一切かかりません。）

詳しくは下記までお問い合わせ下さい。

問い合わせ先 人権・同和教育課
電話：097-506-5554

PTA人権学習ガイドブック

～ホフ スタッフ ジャンプ～



平成21年9月
大分県教育委員会

PTA人権学習ガイドブック(表紙)